

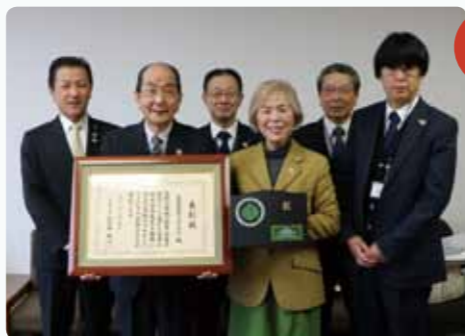


3月10日

キャッシュレスでの支払いが可能に

市役所窓口での手数料や納付書による支払いがキャッシュレス決済に対応可能となりました。初日となったこの日は開始式が行われ、職員が支払いのデモンストレーションを行いました。

市では、株式会社十六銀行、株式会社十六カード、十六コンピュータサービス株式会社と協定を締結し、準備を進めてきました。この日から、窓口で住民票などを取得した場合、電子マネーやクレジットカードなどでの支払いが可能となりました。市民税などの納付書での支払いは、自宅に納付書のバーコードを読み取り、スマホアプリで支払えるようになりました。



2月26日

笠置コミセンが優良公民館表彰を受賞

笠置コミュニティセンターが文部科学省第72回優良公民館表彰を受賞しました。

同コミセンは、少子高齢化が著しい中でも、ボルダリングやカメラなど地域の自然を生かした講座や、リアルなかかしを作る講座など、特色ある講座を開催してきました。そういったことが、地域住民の学習活動に大いに貢献しているとして、今回の受賞につながりました。

受賞報告会で、岩崎修三学塾塾長は「地域の方と、魅力ある楽しい活動の場や教育の場をつくってきた。これからも、お互いに楽しめる活動をしていきたい」と話しました。



2月21日

大河ドラマ館が入館者1万人を達成

麒麟がくる ぎふ恵那 大河ドラマ館の入館者が1万人に達し、記念のセレモニーが行われました。

1万人目の来場者となったのは、友人と訪れた美濃加茂市の高崎千春さん。小坂市長が、記念品として光秀グッズや特産品を手渡しました。高崎さんは「明知城跡に行き、大河ドラマ館に来たところ。受付で1万人目と聞いてびっくりしました。大河ドラマ館に来たのは恵那が初めて。大河ドラマを身近に感じることができ、ワクワクしますね」と、偶然の幸運を喜びました。

入館者1万人達成は、1月11日の大河ドラマ館オープン以来42日目でした。



2月19日

桜のせん定を学び、春を迎える準備

春を前に、桜のせん定を学ぶ講習会が恵那峡公園で開かれました。

市観光協会恵那峡支部や県造園緑化協会、桜を管理している団体など23人が参加。公益財団法人日本花の会結城農場の農場長で、樹木医である田中秀明さんから、桜の枝の切り方や管理方法を学びました。

田中さんは「桜は、骨格を作るために早い段階から正しくせん定することが必要」と話し、実践して見せました。

造園会社で働く安部大志さん（大井町）は「講習会に参加して、せん定の知識が深まりました。多くの人に恵那峡の桜を見てほしいです」と感想を話しました。



3月10日

福祉に役立ててと画展収益金を寄付

絵画サークルのチャール会恵那から、チャリティー画展の収益金が市に寄付されました。

同会のチャリティー画展は、今回で21回目。2月21日から23日までの3日間、恵那文化センターで行われました。同会代表の小板さんは「今回は49作品を展示し、そのうち33作品が販売できました。ぜひ社会福祉に役立ててください」と、寄付金7万円を小坂市長に手渡しました。市長は「毎回寄付いただき、ありがとうございます。息の長い取り組みに感謝します」とお礼を述べました。この寄付金は、社会福祉事業に役立てられる予定です。



2月28日

版画コンクールの入賞作品を展示

第16回市こども版画コンクールがあり、市内こども園や保育園、小中学校から2,892点の応募がありました。審査の結果、最高の広重賞には、後藤万葉さん（山岡中学校1年）の『明日もあそぼ』が選ばれました。新型コロナウイルス感染症の感染を防止するため表彰式は中止となりましたが、2月28日から3月15日まで、中山道広重美術館で入賞作品が展示されました。



▲後藤さんの作品



2月24日

夜の図書館にジャズの音色が響いた

市中央図書館で、ジャズボーカリストの大友玲子さんとビブラフォン奏者の山下真理さんによるジャズライブがありました。

この日は、『キラキラ星』『星に願いを』など、星と月をテーマに選曲。図書館司書による『星の王子さま』の朗読に合わせた演奏など、図書館ならではの演出もありました。来場者の中には目を閉じて聴き入る姿もあり、心に響く歌声と、ビブラフォンの美しい音色が堪能した様子でした。

親子3人で訪れた勝野加菜さん（大井町）は「ポスターを見るたび子どもが立ち止まるので、来てみました。図書館での音楽は初めてですがすてきですね」と話しました。



2月21日

メニコン社長の話から生き方を学ぶ

明智中学校で、株式会社メニコンの田中英成代表執行役社長による講話が行われました。広い視野で自分の生き方を考えるきっかけにしようと、卒業を間近に控えた3年生が熱心に耳を傾けました。

田中社長は「子どもの頃の趣味や部活が、現在の会社経営に役立っている。受験が終わったら趣味や部活など、自分に投資してほしい」と話しました。

講話を聞いた後、ヘルベストリツケンジさんは「今は受験勉強に忙しいけれど、将来のために、勉強の合間でも自分の趣味の時間をもちたいです」と感想を語りました。